

白布ヶ丘だより 9月

…学校と家庭・地域の架け橋…

発行 栃木県立真岡高等学校

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

この夏、「観測史上最大の豪雨」という言葉を何度聞いたことでしょうか。台風11号、12号は、四国・近畿地方に記録的な豪雨をもたらしただけでなく、遠く離れた関東、東北地方や北海道にも影響を及ぼし、本県でも栃木市から鹿沼市にかけての地域が竜巻とみられる被害に見舞われました。また、広島市では、集中豪雨が土砂災害を引き起こし、多数の犠牲者が出ています。

「異常気象」とは、「30年に一度あるかないかの気象状況」だそうですが、確か、去年も、一昨年も異常気象だった……。地球温暖化のもたらす「高温」、「多雨」は、もはや日本の夏の定番になってしまったのかもしれない。しかも、その影響は日本だけにとどまらず世界中に広がっているのです。

“Change before we have to.” 本校の新しい生徒会役員が打ち出したスローガンです。「変化を迫られる前に、自ら変わっていこう」。このところの異常気象を考えると、地球温暖化を防止するために、日本中に、そして、世界に発信したいメッセージでもあります。

2学期始まる

授業 1分前思動 1分後吞知
自らを主とせよ

8月28日(木)、2学期始業式が行われました。菊地校長は式辞の中で、生徒諸君に期待する主体的な行動力について述べられました。「思動・吞知」という言葉を示し、授業前の1分間に、これから50分の展開を自分の頭で考える「思動」を、授業後の1分間で、50分間に得た知識を自分の言葉で頭に吞み込む「吞知」を行うように話されました。

本校の質の高い授業を単に受けるのではなく、授業において自らを主とし、主体的に参加することによって生じる確実な変化を生徒一人ひとりが実感してほしいと熱く語られました。

生徒諸君には、授業における「文武両道」を実践し、自らの突破力を高めて、変化と成長につながる2学期となるように期待します。

始業式の後、生徒会役員任命式、野澤賞授与式が行われ、午後には、野澤賞受賞者による進学講演会と座談会が開かれ、生徒たちは熱心に聞き入っていました。



<野澤賞受賞者による進学講演会>

生徒会新役員決まる

平成26年9月～平成27年8月までの生徒会の新しい執行部が決まりました。

真岡高校にまた新しいリーダーたちが現れました。生徒会活動が更に活発になるものと確信しています。新役員の皆さんの活躍を期待しています。

また、石川会長をはじめ旧役員の皆さん大変ご苦労様でした。

生徒会新役員

会長	渡邊和喜	(2-1)
副会長	池田昂平	(2-1)
副会長	村田駿介	(1-5)
会計	松本一輝	(2-1)
計査	渡邊瞭	(1-1)
監査	横田怜哉	(2-1)
議長	小倉天志	(1-3)
副議長	花輪仁成	(2-1)
	森島尚悟	(1-3)

「新生徒会長になって」 渡邊和喜

今年度の生徒会スローガンは「Change before we have to」です。生徒会、そして真岡高校全体の成長のためには、過去に固執せず新たな一歩を進んでいくことが必要だと考え、決定いたしました。

そんな新たな一歩を進むためには、まず生徒の皆さんが生徒会をより身近に感じることでできる環境作りが必要です。その実現のため、生徒が生徒会と接する機会をたくさん作っていかうと考えています。

このような活動を通し、真岡高校がより熱い、より魅力的な学校になっていくよう、全力で努めていきたいと思ひます。また、活動の際、生徒の皆さんの積極的な参加をお願いします。協力してより良い学校作りをしていきましょう。これから一年間よろしくお祈ひします。

一日体験学習実施

中学生を対象とした「一日体験学習」が、8月21日（木）に開催されました。

県内外の中学校から生徒391名、保護者223名、先生方5名の合計619名と昨年より80名多い参加がありました。

当日は校長先生の挨拶の後、本校生徒会役員が部活動や学校行事などについて、スライドやビデオを用いて紹介しました。続いて、応援団によるエール、ジャグリング同好会の演技、吹奏楽部の演奏が行われ、楽しい雰囲気の中で進められました。

その後、中学生は教室に入り、中学校ごとに分かれてグループ別相談会を行いました。これは、今年度から新たに導入した企画で、グループの中学校出身の本校生が、学校生活について説明したり、中学生の質問に答えたりするものです。会場となった教室では、時間ぎりぎりまで熱心に質疑応答をするグループもあり、盛り上がりを見せていました。

また、保護者等には、担当の職員から「学校案内」などの資料を用いて、本校の概要や学習・進路について説明がありました。

午後は、部活動等の自由見学で、校舎内やグラウンドを熱心に見学する姿が見られました。

中学生に行ったアンケートでは、「楽しかった」「参考になった」「真岡高校に入学したいと思った」などの回答が多数寄せられました。



記念館の改修工事始まる

この度、国登録有形文化財に指定されている本校記念館の耐震化工事が着工となりましたのでお知らせします。

本校の記念館は、創立当時の本館を明治37年（1904年）に再建したもので、新校舎建設に伴って、昭和43年（1968年）に現在地に移転しました。木造二階建、寄棟造、桟瓦葺、延床面積は744㎡になっています。平成10年7月23日、国登録有形文化財に指定されました。

平成23年3月11日の東日本大震災で被災し、災害復旧工事で被災前の状態に戻ったものの、その後の県による耐震診断調査の結果、耐震性に問題があり、記念館として使い続けるには基礎からの全面改修が必要であることが判明しました。

同窓生回想のシンボルであり、在校生には本校の歴史や先輩の活躍を学ぶ場として貴重な記念館を、一日も早く使える状態に戻したいと検討して参りましたが、この度、大塚実氏（大塚商会相談役名誉会長、同窓会副会長、旧中35回卒）より多大なご支援をいただき着工となりました。皆様にお知らせいたしますとともに、大塚氏のご厚意に対し、深く感謝申し上げます。

なお、工期は来年2月末までを予定しており、完成まで立入禁止区域の設定や保護者送迎場所の変更等ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



行事予定

9月

- 9日（火） 第3回校内模試（3年）（～10日）
- 10日（水） 修学旅行事前健康相談
- 12日（金） 1年進学講演会（LHR）
同窓会東京圏会総会
- 13日（土） サタデーセミナー（1,2年）
土曜開放
- 20日（土） 3年進研マーク模試、土曜開放
- 24日（水） 2年中間テスト（～26日）
- 25日（木） 学校評議員会
- 27日（土） 土曜開放
- 26日（月） 修学旅行オリエンテーション（5,6限）
- 30日（火） 2学年修学旅行（～3日）

10月

- 1日（水） 上着着用登校
1・3学年中間テスト（～3日）
- 2日（木） PTA大学視察研修旅行
- 4日（土） 土曜開放
- 8日（水） 職員会議
- 11日（土） サタデーセミナー・土曜開放
3年全統記述模試
- 14日（火） 月曜日の授業
- 15日（水） 芸術鑑賞会、平日課外
- 16日（木） マラソン大会事前健康相談
- 17日（金） 薬物乱用防止講話
- 18日（土） 3年進研記述模試 土曜開放
- 22日（水） 平日課外
- 23日（木） 第55回校内マラソン大会
- 24日（金） 人権教育（LHR）
第3回PTA理事会
- 25日（土） 3年全統マーク模試、土曜開放
- 29日（水） 1,2年科目類型選択調査

